



一緒に遊びたい!

きれいなねどこを作ってね



ボクたちも
生きています!



たくさん
詰め込まないでね



ウンチを掃除してね



高い所に
登るのが
大好きです



静かな環境がいいな



毛並みの手入れを
してね

きれいな水を
飲みたいな



奈良県うだ・アニマルパークは、平成15年度より整備を行い平成20年春に開園しました。「いのちの大切さ」を学び、「生きる力」を育心教育の場となるように整備された公園です。



奈良県うだ・アニマルパーク
〒633-2112 奈良県宇陀市大宇陀小附 75-1
TEL: 0745-83-0807・2563

いのちの教育プログラム



人間と動物たちとの関わり、
そして「いのち」に対する責任
について学びます

奈良県うだ・アニマルパーク
http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-1839.htm

うだ・アニマルパークの 「いのちの教育」とは…？

私たち人間は、地球上に暮らす多くの生き物との関わりの中で生きています。うだ・アニマルパークで実施している「いのちの教育プログラム」は、私たちと動物の関わりに気づき、動物にも感情や要求があるということ、動物の「いのち」が私たち人間と同じであることを感じ、それぞれの動物の「いのち」がよりよく生きるために私たちがどのような責任を負っているのかを考えることを目的としています。

《目次》

- プログラムⅠ 私たちと動物との関わり P.4-5
(私たちと動物とのつながり)
- プログラムⅡ 動物と私たちの「いのち」は同じ P.6-7
(動物の気持ちを考えよう)
- プログラムⅢ 動物のために私たちにできること P.8-15
(私たちが動物に果たす責任)

プログラムは
大きく3つに
分かれています

「いのちの教育プログラム」で使用するツール
・プログラムで使用する学習シート



このプログラムは、張り子の動物を並べることから始まります！

「いのちの教育プログラム」で使用するツール

- ・3つのエリアを示すパネル
- ・張り子の動物

人間はこれら全ての動物と関わって生きています



プログラムⅠ 私たちと動物の関わり

私たち人間は、いろいろな動物との関わりの中で生きています。この「プログラムⅠ」では、私たちと動物がどのように関わっているかを考えます。

これらの動物は、それぞれどのような場所に棲んでいるのでしょうか？



?
質問

それぞれのエリアで暮らす動物を何と言いますか？



?
質問

「ペット・家畜・野生動物ってどんな動物ですか？」

- 「ペット」とは……人間と共に暮らしている動物／一生涯、人間が責任をもって世話をしている動物
- 「家畜」とは……人間の役に立つために育てられている動物／人間が管理し、世話をしている動物
- 「野生動物」とは……自然の中で、自分の力でエサや水を探して生きている動物／人間の管理下でない動物



木を植える活動をしています

晩ご飯にお肉を食べました

ウールのセーターを着ています

犬を飼っているので、毎日散歩に行きます

?
質問

「あなたが選んだ動物は、あなたとどのような関係がありますか？」「また、そのエリアとどのように関係していますか？」

猫と一緒に暮らしています

毎日、牛乳を飲んでいます

自然環境を守るために、地域のゴミを拾っています

ハムスターの小屋の掃除をしています

このプログラムの学びで「気づく」こと

私たち人間は、動物と「ペット」「家畜」「野生動物」という3つの関わり方をしています。「ペット」は《一緒に遊ぶ》《癒される》、「家畜」は《お肉を食べる》《ミルクを飲む》《毛を使ってセーターを作る》などの関わりがあります。そして、人間は《自然を破壊する》《自然を守る》ことなどにより、「野生動物」に影響を与えています。

プログラムⅡ 動物と私たちの「いのち」は同じ

地球上には、私たち人間以外にも多くの動物が暮らしていますが、動物も人間と同じようにたったひとつの「いのち」を生きています。この「プログラムⅡ」では、動物と人間の「いのち」は同じであるということを学びます。

？
質問

「生きている」ってどんなこと？

ご飯を食べます
水を飲みます

心臓が動いています

息をしています

うんちを
します

ねむります

うごきます

血が流れています

？
質問

よりよく「生きる」ために必要なことは？

あなかいっぱい
食べたいです！

かじるための
木がほしいな

安全なところで眠り
たいです！

水をいっぱい
飲みたいなあ

高い場所
に食るのが
大好き

人間と一緒に散歩に行ったり、
遊んだりするのが大好きです！

きれいなところ
で暮らしたい

暑いのが
苦手です

？
質問

「こんなときには、動物はどんな気持ちになるでしょう？」

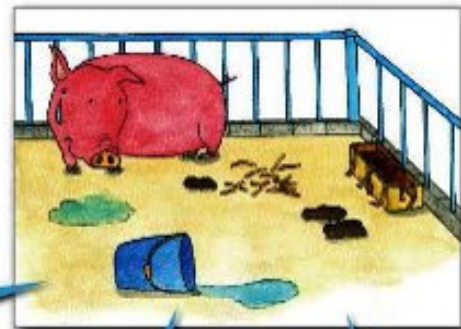
- 「ペット」……人間と一緒に遊んでいるとき／ひとりぼっちでかまってもらえないとき
- 「家畜」……衛生的できれいな場所で暮らしているとき／過密飼育で水が汚れて不衛生な状態のとき
- 「野生動物」……豊かな自然の中で暮らしているとき／自然環境が破壊され棲む場所や食べ物がなくなったとき



せっかく一緒に暮らして
いるのに…

一緒に遊んで
ほしいな

退屈だ…



ちゃんと世話を
してほしいな…

水が汚くて
病気になる
そうだな…

不潔で嫌だな…

ボクたちが
棲む場所を
奪わないで



食べ物が
無いよ…

車の音が
怖いよ…

このプログラムの学びで「共感する」こと

生きていること、生きるために必要なことについて考えてみると、動物も私たちと同じように「生きていて」「ニーズがあり」「感情がある」生き物なのです。

動物は人間と同じ言葉を話さないだけで、人間と同じように喜びも悲しみも、痛みも、恐怖も感じる存在です。

プログラムⅢ 動物のために 私たちができること

「ペット」「家畜」「野生動物」は、それぞれ違った生活スタイルで生きていますが、そのいずれに対しても人間が大きく関わっています。この「プログラムⅢ」では、動物が体も心も健やかによりよく生きるため、私たちができることを考えます。

？
質問

それぞれの動物は、どのようにして
生きているのでしょうか？



《野生動物》

《野生動物》

自然の中で生活している動物。



《ペット》

《ペット》

人間といっしょに家などで
暮らしている動物。



《家畜》

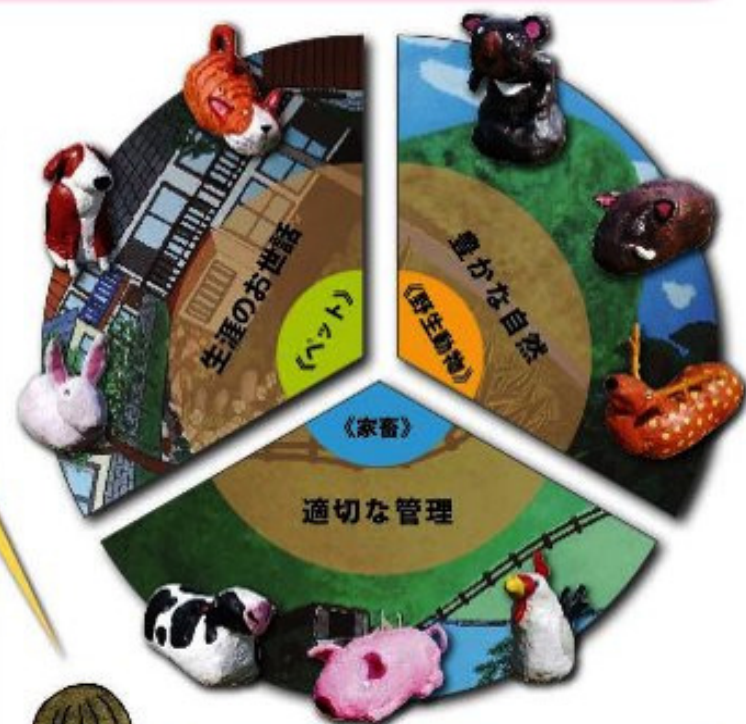
《家畜》

人間の役に立つために、
農場や牧場で暮らしている動物。

？
質問

「私たちが動物のためにできることは何でしょう？」

- 「ペット」……えさや水を忘れずに与える／毎日散歩に行く／一緒に遊ぶ／トイレを清潔にする
- 「家畜」……きちんとえさを与える／新鮮な水をあげる／うんちの掃除をする／小屋を清潔にする／おいしくいただく／大切に使う
- 「野生動物」…自然を守る／野生動物たちの場所に入って行かないようにする／そっとしておく



野生動物は、豊かな自然環境があれば自分の力で生きていくことができるので、野生動物が棲む場所を人間が守ってあげることが必要だと思います。そして、野生動物にはえさをあげたりせずに、そっとしておく方がよいのではないかと思います。

家畜は、人間のために飼われている動物なので、毎日快適に暮らせるようにきちんと世話をすることが大切だと思います。また、人間は家畜の命を食べて生きているので、食事をするときには残さず全部食べるようにしなければいけないと思います。

ペットは、私たち家族の一員なので、毎日きちんと世話をし、たくさん愛情をかけてあげることが大切だと思います。そして、不妊去勢手術をして、責任をもって世話ができる数以上に増やさないことも必要だと思います。

このプログラムの学び、「責任」とは

この3種類に分類した私たちと動物との関係をまとめてみると、「ペット」には《生涯のお世話》が必要です。「家畜」には《適切な管理》が必要です。そして、「野生動物」には《豊かな自然》が必要だということがわかります。

私たちは動物が好きとか嫌いとか、飼っているとかいないとかに関わらず、様々な動物と様々な形で関わっていることに気づき、責任を果たさなければならないのです。

ペット(伴侶動物)

学習シート

私たちが一緒に生活している犬や猫などのペットは、もともとは野生の中にいた動物を、人間が自分たちと共に生活する動物へと変化させたものです。人間社会の中で、ペットが快適に生活をするためには、「動物」と「社会」に対して飼い主が守らなければならないルールがあります。

動物へ 《5つの自由+1》

- 1. 飢えと渇きからの自由**
動物にとって、食べ物と水はとても大切です。
- 2. 肉体的苦痛と不快からの自由**
動物が気持ち良く、安全に暮らせるように、お世話をしましょう。
- 3. 外傷や疾病からの自由**
動物の様子をよく観察して、病気ではないか、ケガはないか、気をつけましょう。おかしいと思ったら動物病院へ連れて行きましょう。
- 4. 恐怖や不安からの自由**
動物の表情や行動をよく観察して、動物がどんな気持ちなのか考えてみましょう。
- 5. 正常な行動をする自由**
動物が、その種類に応じた自然な行動ができるように、飼育場所の広さや環境を整えましょう。
- 6. 終生飼育**
飼い始めたら、愛情をかけて最後まで世話をしましょう。



社会へ 《適正飼育でモラルを守る》

繁殖制限

責任をもって飼えない動物を増やさないようにしましょう。

所有の明示

自分が飼っているペットに対して責任をもちましょう。

終生飼育

最後まで責任をもって世話をしましょう。

しつけ

人間社会で暮らしやすいようにしつけをしましょう。

迷惑防止

鳴き声、臭い、うんちなど周辺に迷惑をかけないようにマナーを守りましょう。



ペットと共にすごせる時間は、私たちが思っているよりもずっと短いのです。その一日一日を大切に、できるだけたくさんの時間を一緒にすごしましょう。

《ペットへの5つの責任+1》

人間社会の中で、ペットと共に楽しく暮らすために必要なことを考えてみましょう。

お世話

- ・それぞれの動物に必要なお世話
- ・住まいの掃除
- ・トイレのお世話
- ・散歩
- ・ブラッシング
- ・シャンプー
- ・つめきり

など

食べ物・飲み物

- ・適切な栄養と量があるエサを与える。
- ・いつでも新鮮な水が飲めるようにしておく。
- ・ときどきおやつをあげる。

など

住まい

- ・安心で安全な居場所を与える。
- ・トイレはいつもきれいにしておく。
- ・室内で飼う。

など

健康

- ・病気やけがの予防をする。
- ・毎日観察し、病気やけがを早く見つける。
- ・病気やけがを見つけたら、すぐに動物病院へ連れて行く。

など

気持ち

- ・たくさんの愛情をそそぐ。
- ・できるだけ多くの時間を一緒に過ごす。
- ・一緒に遊ぶ。
- ・気持ちよく過ごせるように、ペットの気持ちを想像してみる。
- ・怖がらせるようなことをしない。

など

社会

- ・散歩のときはうんちを拾う。
- ・おしっこは水で流す。
- ・臭いや毛が飛ばないように清潔に保つ。
- ・迷子にしないように注意する。
- ・鑑札、予防注射の済票や迷子札を付ける。
- ・最後まで責任をもって飼う。
- ・繁殖制限をする。

など



家畜(産業動物)

学習シート

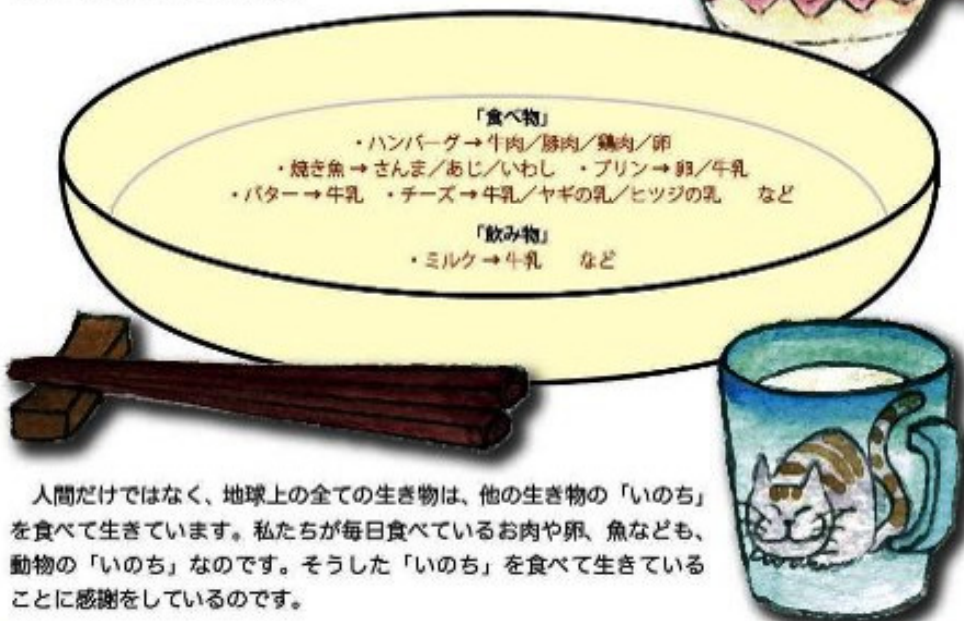
私たちは、毎日たくさんの食べ物を食べて生きていますが、それらは全て他の生き物の「いのち」を頂いているのです。私たちは、食事の前に手を合わせて「いただきます」と言ってからご飯を食べますが、「いただきます」のその前に、人間は利用する動物に責任を果たさなくてはならないことを学びます。

いただきます

のその前に

あなたが、昨日食べたものを思い出して書き出してみましょう。

お皿の上に、昨日一日で食べた物や飲んだ物を思い出して書き込んでみます。そして、それらはどういった動物や植物の「いのち」なのかを考えてみます。



人間だけではなく、地球上の全ての生き物は、他の生き物の「いのち」を食べて生きています。私たちが毎日食べているお肉や卵、魚なども、動物の「いのち」なのです。そうした「いのち」を食べて生きること感謝をしているのです。

《家畜への5つの責任》

私たちと家畜は、利用する・されるの関係にあります。動物を利用している人間が、動物が健やかに暮らすために果たさなければいけない責任を考えます。

それぞれのイラストの動物にはどういったことが必要なのかを考えてみましょう。

食べ物・飲み物

- ・十分な栄養の食べ物を与える。
- ・新鮮な水が必要。
- ・どの動物もえさを食べられるように工夫する。

など

腹減った…



生活環境

- ・動物が生活する場所を清潔に保つ。
- ・安心できるねどこを与える。
- ・温度や湿度、明るさをきちんと管理する。
- ・静かな環境で育てる。

など



臭いよ…

動物の健康

- ・病気やけがを発見したらすぐに獣医師に診てもらおう。
- ・病気にならないように予防する。
- ・ストレスがかからないようにする。
- ・けがをしそうな危険物を無くす。

など

痛い…



動物の気持ち

- ・きちんと世話をする。
- ・愛情を込めて世話をする。
- ・動物が怖がるようなことをしない。
- ・たたくなど、動物に苦痛を与えない。
- ・相手が何を感じているのか想像してみる。

など



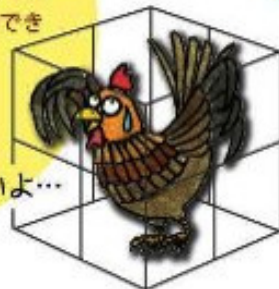
怖いよ～

動物の行動

- ・適切な広さを確保する。
- ・はばたきや穴掘りなど、それぞれの動物が自然に行動できるように工夫する。

など

狭いよ…



野生動物

学習シート

ここでは、野生動物に対して、私たちができること、あるいはしてはいけないことを考えます。野生動物には豊かな自然環境が必要です。自然環境を破壊するのも、守ることができるのも人間なのです。

ツキノワグマは、年々その数が減少しています。

自然の中でクマが生きていくためには、えさになるたくさんの植物や昆虫が必要です。そのためには、こうした植物や昆虫が育つ豊かな自然環境と安心して暮らせる広い場所が必要なのです。

地球上には、私たち人間やイヌやネコ以外にも、たくさんの種類の動物が自然の中で生きています。



野生動物の生活環境を守るために、私たちが気をつけていることを書き出します。

家庭で

- ・ごみを少なくする。
 - ・エネルギーの使用を節約する。
 - ・水を大切に使う。
 - ・ものを大切に使う。
 - ・ご飯を残さず食べる。
- など

学校や地域で

- ・給食を残さず食べる。
 - ・リサイクルに協力する。
 - ・木を植える活動に参加する。
 - ・ごみ拾い等の環境ボランティアをする。
- など

野外で

- ・ポイ捨てをしない。
 - ・野生動物に出会ったら、そっとしておく。
 - ・公共の交通機関を使う。
- など

一見、動物に優しく見える次の3つの行動ですが、それによって、自然界にどのような影響が出るのか考えます。

①「野生動物への餌付け」

自然の中では、限られた食料や広さの中で生きていくことができる数が自然に調節されていますが、人間が餌付けをすると一時的に数が増え、自然の中から動物の食べ物がなくなってしまいます。そうすると、人間の住む場所に出てきて畑を荒らしたり、人を襲ったりする事故が起きるようになってしまいます。

えさをあげると動物たちはよろこぶよね!

②「ヒナを拾う」

野鳥のヒナは、まだ上手に飛べない状態で巣立つことが多く、そのようなヒナでも親鳥が食べ物を運んだり安全な場所へ導いたりして育てている場合があるので、安易に人間が連れて帰ると親子を引き離すことになってしまいます。

かわいそうだからつれ帰ってあげよう

巣からヒナが落ちてきているよ

③「外来生物を自然に放す」

外国から輸入されたカブトムシを自然に放すと、もともと日本にいたカブトムシのえさを奪い、日本のカブトムシの棲む場所がなくなります。また、日本にはなかった病気を持ち込んで、日本の昆虫が絶滅してしまう危険性もあります。

外国からきたカブトムシだけど…せまいところにとびこめておくとかわいそうだから、森の中にはなしてあげよう!

